

出産

- 一、ころころ団子 臨月に婚家より実家へ団子を送り実家より婚家へ安産前祝いの団子を送る。
- 二、出産後、三日目に御里より祝い餅を贈る、親類よりは尺物と餅米二升を持ってお祝いに行く。近隣よりは二十銭、乃至五十銭を持ってお祝い行く。その際、お餅を三つ宛て、お引として贈る。
- 三、七日間に里に於いて、両親を集めてお祝いをする。
- 四、二十日目に婚家に帰る。里よりは赤飯を贈り、婚家では親類・近所を招待し、お祝いをする。
- 五、百日目に子供の食い始めの祝いをする。その際、里では赤飯に御膳と箸とを付けて持ってくる

厄のがれ

民力涵養の声高き為、冠婚葬祭の饗応など、次第に簡

略になりつつあり、厄のがれの如きも、男子に十五歳と四十二歳とに神社へ鏡餅を供えて心ばかりの儀礼をなす。

還暦・米の字及び女子の厄年は古来重きを置かず。

入営者送迎の風習

入営 村人より分相応の餞別あり、入営者を出す家では簡単な酒食を饗して、お祝いとする。翌日見送る。退営 親類・近隣の人、駄頭まで出迎いする。その後慰勞の酒宴を催す。

葬礼

葬礼の風習は宗派によって異なる、概論し難い。

建前